

住宅設備機器商品の希望小売価格改定

～2026年12月1日受注分より～

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:田村 信也)は、**2026年12月1日受注分より住宅設備機器商品の希望小売価格を改定**します。

昨今、原材料価格の高騰をはじめとする外部調達コストの上昇は依然として続いています。当社グループでは、全社をあげて生産性の向上、合理化によるコストダウン、諸経費の削減に取り組んできましたが、企業努力だけでは対応することは困難な状況となっています。また、今後も継続的にお客様へ新たな価値をご提供していくため、下記の通り希望小売価格の改定を行います。

TOTOは引き続き、お客様の暮らしを快適にするより良い商品やサービスの安定した供給を実施してまいります。

■主な対象商品と平均改定率

対象商品	平均改定率
衛生陶器	13%
システムトイレ	9%
ウォシュレット(一体形便器・シートタイプ)	10%
水栓金具	8%
ユニットバス・システムバス	8%
洗面化粧台	9%
その他商品	9%

■実施時期:2026年12月1日受注分より

共通価値創造戦略 TOTO WILL2030

きれいと快適・健康



環境



人とのつながり



「社会的価値・環境価値」と「経済価値」を同時に実現する共通価値創造戦略 TOTO WILL2030 では、「きれいと快適・健康」「環境」「人とのつながり」に取り組むべき重要課題「マテリアリティ」としてサステナビリティ経営を強化し、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」にも貢献していきます。

<https://jp.toto.com/company/profile/philosophy/managementplan>